

埼玉アーティストシアター通信

SAITAMA
ARTS THEATER
PRESS
VOL.89

2020.10-11



大友良英

フランソワ・シェニョー & ニノ・レネ

波多野睦美 & 高橋悠治

さいたまアート・フェスタ

「ねえ、この『小鬼』と『魍魎(すだま)』、もっといい言葉にならないかな」と蜷川さんが言った。蜷川さんは、耳で聞いてすぐに分からないような言葉を嫌う。確かに「こおに」は「高二」に聞こえるし、「魍魎=山林や木石に宿る精霊」はおうちに帰って辞書を引かなきゃ分からないかも。反省。

1987年に初演され「佐渡の能舞台でのリハーサル」という副題のついた蜷川演出の名舞台『テンベスト』。これが彩の国シェイクスピア・シリーズ第6弾として2000年5月末から6月初頭にかけて上演されるに当たり、小田島雄志訳から私の訳に変わった。

5月10日ごろだったか、その日の稽古は五幕一場、「丘や小川、森や湖に住む妖精たち」で始まる主人公・白魔術師プロスペローの台詞が中心だった。十二年前にミラノ大公の座から彼を追い落とした弟とナポリ王への復讐を果たしたので、もう魔法は捨てる決意したプロスペローを、蜷川さんは演出家に見立てた。佐渡の能舞台で『テンベスト』を上演するという外枠を考えると、この台詞はいわばスタッフである妖精たちへの感謝と別れの言葉になるのだった。

さて、「小鬼」と訳したのはdemi-puppets(半分サイズの指人形)、「魍魎」はこの台詞の冒頭でelves(elf=小妖精の複数形)と呼びかけた対象をyouで言い直したものだ。さあ、どうしよう。いつもならこういうダメ出しは宿題にしろ、答えは翌日の稽古で、となるのだが、そのときは、すぐその場で変更案を出すように言われた。あせった。

で、「フツーでごめんなさい。いまはこう言ってもらって。もっといいのを思いついたら、すぐ伝えるから」と言い訳をして、「小鬼」は「小さなものたち」に、「魍魎」は「精霊たち」に変えてもらった。その結果――

「月明かりのもと、草原に、雌羊も食わぬ/ 饅(す)えた輪を作る小さなものたち。たわむれに/ 真夜中のキノコ作りに精を出し、嬉々として/ 荘厳な夕べの鐘を聞く精霊たち」となった。

演出助手がすぐさま蜷川さんと平さんにそれを伝える。即その場面を返す。びっくりした。「小さなものたち」で平さんの演技が変わったのだ。「小鬼たち」の時より視線が下り、両腕を広げ、まるで芝草の根元にそっと声をかけるように「ちー小さなものたち」と。

フツーを恐れず、俳優の想像力を喚起することを最優先すべし。劇の言葉で大切なのは何か、平さんはそれを教えてくれた。



彩の国シェイクスピア・シリーズ第6弾『テンベスト』(2000年) 平幹二郎、寺島しのぶ Photo◎高嶋ちぐさ

Kazuko Matsuoka

翻訳家。彩の国さいたま芸術劇場シェイクスピア企画委員会委員。翻訳家、演劇評論家。彩の国シェイクスピア・シリーズの翻訳を担当。ちくま文庫から「シェイクスピア全集」を刊行中、既刊は36作、6月「ジョン王」を刊行した。



彩の国さいたま芸術劇場 劇場見学ツアー Photo◎宮川舞子

CONTENTS

- 4 PLAY > 『かがみ まど とびら』
- 6 PLAY > さいたまゴールド・シアター次回公演決定!
- 7 REPORT > 彩の国さいたま芸術劇場 劇場見学ツアー
- 8 DANCE > フランソワ・シェニヨール&ニノ・レネ
『不確かなロマンス—もう一人のオーランドー』
- 10 DANCE > パーキンソン病患者のためのダンス・プログラム
- 12 MUSIC > イレブン・クラシックス Vol.2
波多野睦美&高橋悠治
- 14 EVENT > 埼玉会館を歩いてみませんか?
- 16 EVENT > JAPAN LIVE YELL project
さいたまアート・フェスタ
- 19 REVIEW
- 20 イベントカレンダー／チケットインフォメーション／彩の国シネマスタジオ
- 24 COLUMN > 林家彦いちの『一歩外へ』



ノイズを注意深く見極める作品
『かがみ まど とびら』

大友良英に聞く、 藤田作品の魅力

藤田貴大が2018年につくった、子どもから大人まで一緒に楽しむ演劇『めにみえない みみにしたい』は、観るものの想像力を膨らませる豊かな作品となった。

同作は2019年に再演され、北海道から沖縄まで全国14会場を巡演し、延べ4,000人を超える観客を魅了。

その第2弾の上演が決定した。

『いだてん〜東京オリムピック噺〜』をはじめとする劇伴でも知られ、

藤田とも数々の作品をつくってきた大友良英に、藤田作品の魅力を聞く。

取材・文 ● 熊井 玲 Photo ● 山出高士



『タイムライン』(2018年) Photo◎石川直樹

——大友さんと藤田さんは、2015年に福島の中高生と創作したミュージカル『タイムライン』で初タッグを組み、以降2017年の札幌国際芸術祭で行われたさっぽろコレクティブ・オーケストラ、今年は『ねじまき鳥クロニクル』と、たびたびクリエイションを共にされています。

『タイムライン』で一緒に仕事する前に、『cocoon』など、藤田さんの作品をいくつか観ていて、“藤田さんとなら一緒にできるな”と思っていました。僕の音楽の作り方は即興が中心ですから、台本に則って作る従来型の演劇だと、窮屈だったりするんです。でも藤田さんは台本を元にせず、みんなの頭の中や身体の中にあるもので作品を立ち上げていく。それって僕がやっている即興を土台にした音楽の作り方と極めて近いので、『タイムライン』はと

大友良英

Yoshihide Otomo

1959年横浜生まれ。十代を福島市で過ごす。即興演奏やノイズ的な作品からポップスに至るまで多種多様な音楽をつくり続け、国内外で活躍。100作以上の映画作品の音楽も手がけている。近年は一般参加のプロジェクトも多数手がけ、2011年の東日本大震災を受け福島で様々な領域で活動をする人々とともに「プロジェクトFUKUSHIMA」を立ち上げ現在も継続中。2012年、同プロジェクトの活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞、2013年には連続テレビ小説『あまちゃん』の音楽でレコード大賞作曲賞他数多くの賞を受賞。2014年よりアンサンブルズ・アジアのディレクターとしてアジア各国の音楽家のネットワークづくりに奔走。2017年札幌国際芸術祭の芸術監督を務める。

てもリラックスして臨めましたし、だからこそ現在も関係が続いているんだと思います。『タイムライン』で一番最初に藤田さんと話が合ったのは、オーディションを一切せず、募集をかけて集まった人たちだけでミュージカルを作ろうということ。実際には“音楽チーム”にギター初心者の男子2人、“演劇チーム”に女の子ばかりで正直どうしようかと思ったけど(笑)、でもそこからなんとかしなきゃと考えるのが、とても面白かった。もちろん後からメンバーは増えていきましたが、でもいる人たちで何が出来るかを考えるのが基本です。

——さっぽろコレクティブ・オーケストラも、小学生から18歳まで、演奏経験不問でメンバーを募集し、オーケストラが編成されました。『タイムライン』の経験が関係していますか？

そうですね。コレクティブ・オーケストラの制作の有馬恵子さんが福島の僕らの共同作業を見て、藤田さんに参加してもらいたいと提案してくれたんです。藤田さんはいろいろなゲームの理論を持ち込んで『タイムライン』を立ち上げていきました。実際、僕らも福島滞在中は昼に稽古して、夜はよくボードゲームをやったんですけど(笑)、ゲームで大事なのはどんなルールか



『めにみえない みみにしたい』(2019年) Photo◎細野晋司

ということですね。コレクティブ・オーケストラでも、みんなでルールを考えて、それが機能するかどうかを試し、新たなルールの中で音楽を生み出していった。それはとても面白かったです。

大切なのはノイズを見極めること

——『めにみえない みみにしたい』は、その翌年である2018年に初演、2019年に再演された、子どもから大人までを対象にした演劇です。大友さんは2回もご覧になったそうですね。

強く興味を持ったのは、『タイムライン』に深く関わってくれた“戦友”であるのちゃん(伊野香織)とあっちゃん(成田亜佑美)が出演するからなんですけど、この作品にもゲームのルールが多用されていてすごく面白かったですね。特にシャボン玉が出てくるシーン！子どもたちが自然に立ち上がって追いかけていたでしょう？あの感動ったらないですよ。「立ったら後ろの人が見えなかな」と思うのは大人のルールに則った考え方で、子どもはそういった社会性よりも、とにかくシャボン玉に集中するわけです。『めにみえない〜』にはそういうことを許容するところがあつたし、既存のルールをただ守るのではなく、ルールはその場その場で考えていけばいいという藤田さんの一貫した目線を、改めて気付かせてくれた作品だと思います。——一方で、近年の藤田作品はますます即興性が高まっていて、藤田さんが大友さん



から影響を受けている部分も非常に大きいのではないかと思います。

『タイムライン』をやったことが大きかったんじゃないかな。子どもたちとすると、本当に予期せぬことが起きるんだけど(笑)、僕や藤田さんが今やっているのは、ノイズを削ぎ落とすことじゃなくて、ノイズを注意深く見極めつつ、それを作品の骨子にどう取り入れていくか、考えること。創作の面白さってそこにあるような気がするんですよ。

——新型コロナウイルスの影響により、マームとジブシーも多くの公演が中止や延期に見舞われました。5月から11月に延期しての上演となる『かがみ まど とびら』は、藤田さんにとって久しぶりの劇場での公演となります。

音楽もまさに打撃を受けていて——というのも音楽の本質ってまさに“三密”な部分にあるんですよ。だから今、少人数でのライブや録音を中心に活動しているのは、僕にとって“雨宿り”みたいな状態。演劇もきっと同じだと思うけど、そのようなのびのびできない状況で藤田さんがどんな新作を作るのか、気になりますね。きっと藤田さんにとってコロナ禍への応答になるような作品になるだろうし、この作品が今後の5、10年先に関係してくるんじゃないかと思うので、注目しています。



チケット販売中

『かがみ まど とびら』

11.22(日)・23(月・祝)・28(土)・29(日) 各日11:30/15:00(全8回)
彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO(大稽古場)

[作・演出]藤田貴大 [音楽]原田郁子 [衣装]suzuki takayuki

[出演]伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子

チケット(税込) 全席自由 大人(19歳以上)2,500円、子ども(2歳以上)1,000円

※開場は開演の20分前 ※上演時間は約60分(予定)

※推奨年齢4歳以上 ※2歳未満の膝上鑑賞は無料(保護者1名につき、お子さま1名まで)

※新型コロナウイルス感染症の影響により当初発表の開演時期を変更いたしました。



『聖地』(2010年) Photo◎宮川舞子

さいたまゴールド・シアター 次回公演決定!

2021年2月、さいたまゴールド・シアターによる、およそ3年半ぶりとなる本公演が小ホールで上演されることが決まった。脚本・演出を務めるのは2010年の第4回公演『聖地』を書き下ろした松井周。自身が主宰する演劇ユニット「サンプル」を中心に、外部公演への脚本提供や演出、小説やエッセイの執筆、芸術祭への参加など多方面で活躍する松井は、ある状況に置かれた現代の家族や集団を描きながら、能動的に行動しているようで実は受動的に何かを選択させられ、動かされている「自我のない動物」としての人間のあり様を提示してきた。ゴールド・シアターへの書き下ろし作品となった『聖地』では、安楽死法が施行された近未来、日本のとある高齢者施設を舞台に、社会に居場所を失った高齢者たちの怒りや悲哀をリアリティに描いた。新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せない状況下で行われる次回公演では、この『聖地』を大幅にアレンジし、登場人物たちが高齢者施設を舞台にあるテーマについて討論を繰り広げるシンポジウム形式の演劇づくりに挑戦する。「終活」という言葉が広がり始めた初演から10年を経て、「老い」や「死」のあり方についてさらに切実に問いかける作品となるだろう。公演の詳細は次号で紹介する。

脚本・演出 松井周より



Photo◎千若孝

「あなたは生きてる価値がない」という言葉がSNSに溢れる時代。そんな言葉に負けまいと思っても、次は「人に迷惑をかけないで、自分のことは自分でなんとかしよう」なんて言葉に捕まってしまう。『聖地』初演(2010)は「いらぬもの」とされた老人たちが抵抗を試みる話だ。しかし、それは震災前の「もしも」の感覚だ。しかし今、事態は「まさに」だ。じゃあ、どんな抵抗があり得るのか？あれ？苦しい。けれど、抜け道はあるはずだと蜷川さんを思い浮かべながら進んでいこう。

彩の国さいたま芸術劇場 劇場見学ツアーが行われました

取材・文◎川添史子 Photo◎宮川舞子

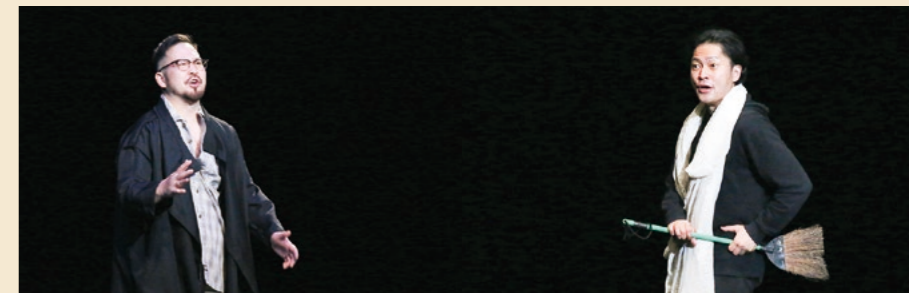
バックステージを巡りながら、客席からは見えない、新たな“劇場の魅力”を発見できる彩の国さいたま芸術劇場の人気企画「劇場見学ツアー」。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを優先しつつ、いつものツアーとはひと味違う、こんな時だからこそそのスペシャルな演出のもと実施された。

今年は5日間(計10回)開催。参加者は大ホールの観客席に着席し、ガラとした舞台を見つめるところからスタートした。舞台装置も何も無い素の空間に、間もなく、さいたまネクスト・シアターの役者2人(鈴木真之介、高橋英希)が登場。そこに照明が入り、シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』『マクベス』などの台詞が語られると、ジワジワと“芝居の空気”に変容していくから面白い。どこにでもいそうな若者たちが、緊張感ある光の中、しっかりと言葉を届けると、“役者の身体”となっていく。

次に舞台上へ移動し、舞台機構の説明。普段は役者にしか見えない景色を堪能し、大きなエレベーターのようなセリに乗って奈落まで移動するなど、貴重な体験を。

そこから楽屋廊下、外の光が差し込む情報プラザを通りつつ、音楽ホールへ。華やかな衣装をまとった演奏家が現れると、小さなコンサート(清水初海によるピアノ演奏。別日は小ホールで赤澤凜太郎によるギター演奏)が始まり、生の音楽に包まれるような喜びを味わった。

普段は足を運べない場所へ足を踏み入れたり、説明を聞いて「ほー」と新たな発見があったりと、随所にワクワクが詰まった劇場ツアー。劇場に足を運ぶ機会が減った時期だからこそ、生の舞台芸術、非日常を楽しむ時間をしみじみと過ごさせてもらった。



フランソワ・シェニョー

François Chaignaud

2003年パリ国立高等音楽・舞踊学校卒業。その後、ボリス・シャルマツ、エマニュエル・ユイン、アラン・プファール、ジル・ジョバンなど多くの振付家やダンサーとコラボレーションを展開。歴史家でもあり、研究分野は20世紀初頭から現代まで幅広く、またクラシック・バレエからストリート、クラブダンスまでジャンルも多岐に渡る。これまで、ダンスと歌が交差する様々なアイデアを具現化した多様な作品を創作。2005年以来セシリア・ベンゴレアと共に『TWERK』、『DUB LOVE』などを世界各国で発表し、高い評価を得る。リヨン・オペラ座バレエ、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団など欧州の重要なダンスカンパニーに作品を提供するなど、今、最も注目されているアーティスト。



Photo © Didier Olivré

フランソワ・シェニョー&ニノ・レネ 『不確かなロマンス—もう一人のオーランドー』

アンドロジニーをめぐるダンスと音楽 絢爛な時間の旅

シェニョー／ベンゴレア名義の先鋭的ダンスで日本のアートファンを虜にしたフランソワ・シェニョー待望の新プロジェクト。

新進アーティスト ニノ・レネと協働したアンドロジニー（両性具有）の形象をめぐる
絢爛な数百年の時間の旅に、私たちは何を見出すのだろうか？

聞き手 ● 岡見さえ（舞踊評論家・共立女子大学准教授）

ニノ・レネ

Nino Laisné

ポルドー国立高等美術学校で映像と写真を専攻、2009年卒業。同時に南米の伝統曲を中心としたギターの演奏を学ぶ。2013年の映像作品『En présence (piedad silenciosa)』をはじめ、映像や音楽など異なるメディアを横断しながら、歴史のおよび社会学的要素、伝統、キャバレー、オペラなどを通じて展開する作品を発表。これまでレジデンスによる新作制作の委嘱のほか、世界各地のフェスティバルにも招かれている。2018年にはパリの美術館グラン・パレの委嘱でマズネのオペラ『ヴェルテル』に着想を得た短編映像『Mourn, O Nature!』をシェニョーとのコラボレーションで発表。マドリードのアカデミー・ド・フランスのメンバー、カサ・デ・ヴェラスケスのレジデント・アーティスト。



Photo © José Caldeira

—作品は、どのようにして生まれたのですか？

シェニョー 私のソロ『Dumy Moyi』を観に来たニノと知り合ったのが、はじまりです。以前からダンスと音楽の関係性を模索していた私と、美術とギターを学び、歴史や廃れゆく文化的実践に着想するアーティストのニノは、すぐに意気投合しました。レネ そのころ私が進んでいた、スペインの詩や音楽、郷土の祭礼で何世紀も伝えられた性的少数者のリサーチも、フランソワの関心と一致しました。ジェンダーを自分の願望に従って再創造した彼／彼女たちは、現代において示唆に富む存在であり、私とフランソワにはまるで別の時代を生きた兄弟姉妹のように感じられた。そしてまず二人で、曖昧なセクシュアリティで人々を魅惑してきたアンダルシアのジプシー、ラ・タララの複数の伝承に基づく短い作品を創作し、2014年にスペインのアラゴンで初演しました。その終演後には、二人でこの探求を続けるのは明白でした。

—シェニョーさんはラ・タララの他にも、男装の少女戦士やサン・ミゲル（聖ミカエル）の化身となって踊り、同時にスペイン語で歌います。声楽も学んだのですか？

シェニョー ダンスはパリのコンセルヴァトワール（国立高等音楽・舞踊学校）で学びましたが、オペラ歌手とコラボレーションした際、身体的で本能的、有機的な彼らの表現に嫉妬を感じました。以来、歌に強い関心を持ち続けていますが、習った経験はわずかです。私は歌いながら身体を動かしたり、声を変えたりするので、声楽の先生に注意されてしまう……。だからほぼ独学で、この作品では共演のミュージシャンに音の装飾技法やフレーズを教わりました。

—この作品では、レネさんが既存の楽

曲をアレンジした音楽を、3人の古楽器奏者と1人のバンドネオン奏者が舞台上、シェニョーさんの傍らで演奏します。レネ 音楽は、スペイン音楽の400年にわたる歴史を包み込もうと考えました。アレンジは時代に伴う変化を反映し、スペイン系ユダヤ人の音楽やフラメンコ、オペレッタ、バロック・サルセラを想起させる音の装飾もあります。歌詞も異なる時代の詩の積み重ねなので、楽器も歴史上は出会わなかった音色を共生させたかったのです。バンドネオンは、パイプオルガンに似た響きと教会音楽との関係も面白いですね。西欧諸国の音楽、バロック音楽、民俗音楽、タンゴといった多様な専門を持つ、素晴らしい演奏者が揃いました。すごくフィジカルな演奏をする曲もあり、彼らの身体のテクスチュアがダンスの強度と結びついて見えるでしょう。

遙か昔から存在する 両性的なアイデンティティ

—宮廷舞踊からバレエ、竹馬を履いての民族舞踊、フラメンコまで多彩なダンスが引用されていますが、振付はどのように進めましたか？

シェニョー スペインのバロックダンス、フラメンコ、民俗舞踊のホタを短期間で集中的に学び、変容させ、混合しました。腕と上半身は古典舞踊、足はホタという具合で、さらに竹馬やハイヒールといった敢えてバランスを崩す要素も導入しました。ハイヒールで踊ることで、フラメンコは正統性の概念から切り離され、多様なリファレンス（引用）を含んだリアルなダンスになりました。音楽同様、ダンスも再創造された一種のフィクションなのです。

—振付と音楽の関係性は？

チケット発売日 一般 10.25(日) メンバーズ 10.24(土)

フランソワ・シェニョー&ニノ・レネ

『不確かなロマンス—もう一人のオーランドー』

12.12(土)・13(日)15:00 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[コンセプト・振付]フランソワ・シェニョー

[コンセプト・音楽監督・演出]ニノ・レネ

[出演]フランソワ・シェニョー(ダンス・歌唱)

ジャン＝パティスト・アンリ(バンドネオン)

フランソワ・ジュベール＝カイエ(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

ダニエル・ザビコ(バロックギター、テオルボ)

ペレ＝オリヴェ(パーカッション)

チケット(税込) 一般 S席5,000円 A席4,000円

U-25* S席3,000円 A席2,000円 / メンバーズ* S席4,500円 A席3,600円

*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により発売日を当初の予定より変更いたしました。

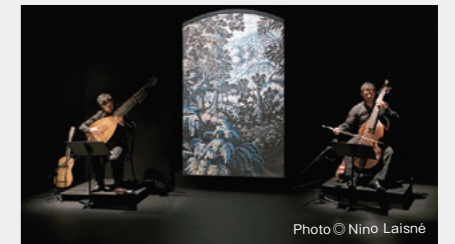


Photo © Nino Laisné

シェニョー 振付は音楽の構造と深く結び付いています。振付は極めて音楽的ですが、逆に私のリズムが音楽に影響を与えることもある。ニノが言うように、ダンスと音楽の関係は平等かつ相互的です。

レネ 音楽とダンスのヒエラルキーを破壊することも、私たちの目標でした。一方が他方に従属するのではなく、各アーティストがソリストであるコレクティブを夢想したのです。この考え方は、動きが歌を生み、歌が動きを生むフランソワの探求にも通じますね。

—シェニョーさんの身体は男性らしさと女性らしさの表象を往来し、変容していきますが、ダンス史におけるジェンダーの問題をどう捉えていますか？

シェニョー 保守的な人は、ジェンダーの問題は近頃の若者が騒いでいるだけだと言います。でも両性的なアイデンティティを持つ人は、遙か昔から存在していました。だから男装の少女戦士やサン・ミゲル、ラ・タララに、両性的なニノも私も親近感を抱くのです。私はこの作品で、“女装”や“演技”をしてはいません。高音と低音の両方で歌いますが、どちらも私の声。男性的なもの、女性的なもの、自分の中にあるすべてを使っているだけです。ジェンダーの問題は研究や臨床の分野で語られがちですが、それと異なる詩的な方法で提示することを私たちは試みました。そしてこの方法は、保守的な人々に対しても、非常に有効なのです。

踊りの力で 浮き立つ心

パーキンソン病患者のための ダンス・プログラム

音楽に乗って体を動かせば、心が自然と浮き立つ。そんなダンスが持つ力をパーキンソン病患者の生活の質（QOL）改善に生かそうと米・ニューヨークで考案され、世界25カ国で普及が進むダンス・プログラム「Dance for PD®」が、日本でも広がり始めている。「世界ゴールド祭」などで高齢者の表現活動を後押ししてきた彩の国さいたま芸術劇場では、地域に開かれた劇場の取り組みの一つとして昨年同プログラムを実施。新型コロナウイルス感染症への対策として劇場が休館中にオンライン・クラスが始まると、全国から参加者が集まるようになった。パーキンソン病患者とダンスを結び付けるものは何なのだろうか。

取材・文 ● 中村正子（時事通信文化特信部編集委員）



昨年6月の体験クラス。参加者からの熱烈な声に押されて定期クラスが実現した Photo ©宮川舞子



小山久美 / スターダンサーズ・バレエ団
Kumi Oyama / Star Dancers Ballet

スターダンサーズ・バレエ団総監督。日本人振付家によるオリジナル作品を生み出す一方、世界的な名作の紹介にも力を注ぎ、古典から現代作品まで日本初演作品を含む世界水準のレパートリーを保持するバレエ団である。学校巡回公演やワークショップを通して子どもたちがバレエに触れる機会を幅広く提供するほか、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラックスパフォーマンスなど、社会と広くかかわる活動も積極的に行っている。2020年に創立55周年を迎え、10月3～4日東京文化会館にて、バレエ「ドラゴンクエスト」上演予定。

参加要項

パーキンソン病患者のためのダンス・プログラム 〈患者さん向け〉オンライン・クラス

- 日時：10月18日（日）15:30～16:10
※11月以降は月1回程度開催
- 会場：自宅からご参加いただけます
※会場は劇場ではありません
- 講師：スターダンサーズ・バレエ団
- 対象：パーキンソン病患者の方
※ダンス経験不問。
※椅子・車いすに座ったままでもご参加いただけます。
※ご家族・介助の方も同一端末で一緒にご参加いただけます。
- 参加費：無料・要事前申込み
- 定員：各回50名

詳細は財団ホームページをご覧ください。

「きょうも楽しく踊っていきましょう」。8月の昼下がり。東京都内にあるスターダンサーズ・バレエ団の稽古スタジオで、プログラムの講師をつとめる小山久美さん（同バレエ団総監督）がパソコンのカメラに向かって呼び掛け、オンライン・クラスが始まった。「体で呼吸するように動いて」「羽が生えたように」「柳の木がしなるように」。ピアノの音楽が流れる中、小山さんがイメージを喚起しながらしなやかに体を動かし始めると、モニターの画面に映し出された参加者が一斉にその動きをなぞっていく。

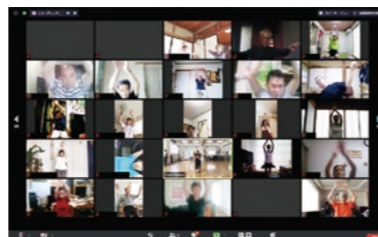
日本の唱歌やバレエの名曲など中高年にも親しみやすい選曲で、まずは椅子に腰掛けて5曲、体力が許せば途中からは立ち上がって2曲。易しい振り付けを物語を紡ぐようにつないだ40分のプログラムは、普段は体を思うように動かせないパーキンソン病患者の潜在能力を引き出すかのよう。少々ごちなくとも、音楽に身をゆだねて

楽しんでいる様子が画面を通して伝わってくる。

パーキンソン病は、脳神経の異常によって体が動かしにくくなったり震えや硬直が起きたりする難病で、国内の患者は15万人以上とされる。薬物治療やリハビリなどの運動療法が行われているが、「スピードの早いエイジング」とも言われる病の進行に伴って、転びやすくなり体が動かなくなっていくことへの不安や恐怖を患者は抱えている。

心の奥底にある表現したい 気持ちを引き出すダンス

「Dance for PD®」は、家に引きこもり、孤立しがちな患者の生活の質を向上させるためのプログラムとして、ニューヨークのダンス・カンパニー「マーク・モリス・ダンス・グループ」が地元の患者団体とともに開発した。あくまでダンスであり、セラピー（治療）ではないとのスタンスだが、



ウェブ会議システムを使ったクラスの様子

パーキンソン病患者にダンスが有効であることは多くの臨床研究でも実証されている。

小山さんは、後進の育成だけでなく、子どもや障がい者らにもダンスの楽しさを伝えようと社会貢献活動に取り組む中で「Dance for PD®」に出合った。2017年にニューヨークでトレーニング・プログラムを受けて指導方法を習得。彩の国さいたま芸術劇場では、小山さんが率いるスターダンサーズ・バレエ団と組んで、昨年からのこのプログラムに取り組んでいる。

弾みをつけたのが、昨年5～6月に彩の国さいたま芸術劇場で行われたシンポジウムとその関連イベントだ。京都で開かれた「第5回世界パーキンソン病学会」のために来日した同プログラムの創設メンバー、デイヴィッド・レヴェンサルさんの講演や指導者向けワークショップのほか、小山さんの指導で患者さんを対象に体験クラス

を催したところ、患者や医療関係者、公共劇場関係者の関心を集めた。

「ダンスは、単純なエクササイズやストレッチでは届かない、心の奥底にある表現したい気持ち、創造性を引き出す」とレヴェンサルさん。かつてプロのダンサーとして活動した経験を踏まえ、「パーキンソン病患者が日常生活における課題を克服するプロセスは、ダンサーが新しい振り付けを覚え、鍛錬を重ねて観客の前で表現するのと同じ。歩く、向きを変える、電車に乗るといった行為は『生活の中の振り付け』と言える」と語る。

彩の国さいたま芸術劇場は、昨年10月から月1、2回程度の定期クラスを開いてきたが、コロナ禍で休館となり中断。5月からウェブ会議システム「Zoom」を使ってオンライン・クラスをスタートさせると、北は青森、南は熊本と全国から申し込みが来るようになった。劇場に集い、参加者同

士が触れ合うことができなくなった半面、これを機に広く認知され、今後は各地で指導者が増えていくかもしれない。

「ダンスはしたことがなかったけれど、心が震え、病気を忘れるくらいだった」。昨年の体験クラスについてこう語り、その後も参加し続ける武田耕一さん（75）は、2018年1月にパーキンソン病と診断された。毎日、1時間半のウォーキングやストレッチを欠かさないが、こうしたリハビリは単調で、「仕事のような義務感」でやっているという。「パーキンソン病は治らないという思いが常に心の底にあり、日頃はわくわく感が味わえない。でも音楽に合わせてダンスをすることで心が浮き立つ感じが心地いいんです」

ダンスには気持ちを体で表現する本能的な喜びがある。クラスを終えた参加者の晴れやかな表情は、誰もがダンスを生きる力にできることを教えてくれる。

フレッシュな耳で音楽を聴いてみよう

コンサートの形が、大きく変わり始めている。

従来の常識からは考えられないような曜日・開演時間・出演者・曲目・構成による公演が成功するケースが、近年ではあちこちで見られるようになった。

その最たるものが、「平日午前中のコンサート」である。

会社や学校が忙しくしている分、混雑が比較的少なく、空気もきれいな時間帯。まだ一日を過ごすには余裕もある。終演後に暗い夜道を急いで帰る必要もなく、ゆっくりランチを楽しむこともできる。

私たちの耳は、日によって少しずつ、そして一日の中でも「聴こえ方」が微妙に違っている。朝起きてすぐの新鮮な耳と、いろいろな話し声や物音に慣れていく昼間の耳と、ひとしきり活動を終えた後の夜の耳とでは、感じ方が違う。

そういった意味でも、いちばん静かな平日午前中に本物の生の音楽に触れることは、精神的にも肉体的にも、とても良いはずである。

朝一番に飲む水が、すこやかに身体に吸収されて全身の細胞を活性化させるのと同じように、午前中にクラシック音楽の生演奏を聴くことができたら、素晴らしい効果を発揮するに違いない——頭も耳も心も澄み切っているのだから。

「イレブン・クラシックス」は、そんな発想のもと、「この時間帯なら来やすい」という音楽好きの方々のために、最良の音楽を届けようという意図のもとに企画された。そして、このシリーズのポイントは、室内楽・歌曲を続けていくところにある。

音楽の真髄を身近にお届け

Covid-19の世界的流行によって、あらゆる人間活動のみならず、クラシック音楽界も未曾有の危機に陥っている。少しずつ光明は見え始めているが、以前と全く同じ状態にすぐ戻るとは思えない。いまの鎖国状態が解除されない限り、かつて毎月のように訪日してきていた海外からの有名演奏家たちの賑わいも、しばらくは戻ってこないだろう。

だがその分、私たちは国内の素晴らしい演奏家たちの活動に目を向けるよい機会に恵まれたともいえる。そこで重要になってくるのが、室内楽・歌曲である。

これまでクラシック音楽というと、多くの人が真っ先に連想するのは

イレブン・クラシックス Vol.2

波多野睦美 & 高橋悠治



Photo © Toshiyuki Kohno



絵 © 柳生弦一郎

波多野睦美 (メゾソプラノ)
Mutsumi Hatano

ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のリユートソングでデビュー後、バロックの宗教曲、オラトリオ等のソリストとして数多くの古楽オーケストラと共演し、国内外でコンサート、音楽祭に出演。バロックオペラ、歌曲、現代音楽の分野でも積極的に活動。放送では「NHK ニューイヤーオペラ」「BSクラシック倶楽部」等。CD作品は古楽器との共演による「イタリア歌曲集」、高橋悠治との共演の「猫の歌」、シューベルトの「冬の旅」、栃尾克樹とのトリオで「風ぐるま」他多数。最新作は大萩康司 (G) との「プラテロトわたし」。

高橋悠治 (作曲・ピアノ)
Yuji Takahashi

1960年 草月アートセンター
1974-76年 季刊誌「トランソニック」
1978-85年 「水牛楽団」「月刊・水牛通信」
以来は作曲・演奏・即興で多数の協力者と活動を続ける
http://www.suigyuu.com/yuji_takahashi/

著書：
「高橋悠治 / コレクション1970年代」(平凡社)
「音の静寂静寂の音」(平凡社)
「きっかけの音楽」「カフカノート」(みすず書房)

オーケストラとそれを率いる指揮者の颯爽とした姿か、ピアニストやヴァイオリニストのスター性だろう。あるいは、大劇場でのオペラ公演を思う人もいるかもしれない。

そうしたパブリック (公的) な音楽に対して、室内楽や歌曲の魅力は、よりプライベート (私的) などところにある。大きな場で発表するのではなく、親密な場で語りかける——そういう音楽の真髄を、身近にお届けできたらと思う。

とっておきのトークもお楽しみに

「イレブン・クラシックス」は平日の午前11時開演。この時間に豊かな音楽を聴くことで、ずいぶん一日の過ごし方も変わってくるだろう。今回このシリーズで、ナビゲーター (案内人) としてできればと思うのは、一方的にレクチャーするのではなく、出演する演奏家たちと、少しでもやりとりをして、音楽の理解のカギとなるような面白い話を引き出したいということである。かきこまった形式的なコンサートもいけれど、少しでも少しくだけた雰囲気も作って、演奏家の人柄も伝わるものにしたい。それでいて、しっかり本格的な音楽を聴くための準備となるようなトークにしたい。

そのためには、まだアイディアの段階ではあるけれど、私からのリクエストで、演奏家に訳詩の朗読をしていただくかもしれないし、楽曲の理解のためにちょっとだけせわりを弾いて説明して、なんてことをお願いするかもしれない。少しでも空気を動かして、不要な緊張を解きほぐし、演奏家も聴き手も、リラックスのあとの集中に向かうためのお手伝いをできたら、と思っている。

室内楽はオーケストラの原型であり、歌曲はオペラの原型である。そこには演奏家どうしの、より深いコミュニケーションがある。このコミュニケーションということこそが、いま文化のあらゆる層において、もっとも求められていることでもある。

第1回の葵トリオ (ピアノ三重奏団) は延期されたが、第2回の波多野睦美 (メゾソプラノ) & 高橋悠治 (ピアノ) は、万全の準備を尽くして1月13日の開催を控えているところだ。波多野さんの声はいまの日本でもっとも親密で深く心に染み入る響きをもっているし、悠治さんのピアノは、決して均質にならない、融通無碍な自由がある。作曲家ならではの「思考」の感じがある。ただ表面的な綺麗さを求めるのではなく、音楽と言葉の深度のある人たちのだ。今回は三人でシューベルト談義でもして、その後での演奏を、劇場を訪れた皆さんと一緒に聴けるのを楽しみにしている。



林田直樹 (音楽ジャーナリスト・評論家)

1963年埼玉県生まれ。音楽ジャーナリスト・評論家。オペラ、バレエ、古楽、現代音楽など、クラシックを軸に幅広い分野で著述。著書「ルネ・マルタン プロデュースの極意」(アルテスパブリッシング) 他。インターネットラジオ「OTTAVA」「カフェフィガロ」に出演。月刊「サライ」(小学館) 他に連載。「Webマガジン ONTOMO」(音楽之友社) エディトリアル・アドバイザー。

「イレブン・クラシックス」
さわやかな朝の新しい音楽会

演奏会の新習慣

平日朝11時に名手の演奏&トークをお贈りする新シリーズ「イレブン・クラシックス」。

6月に予定していた第1回は残念ながら中止となったが、来年1月にいよいよスタートする。

メゾソプラノ波多野睦美とピアノ高橋悠治による歌曲のひとつ。

音楽をもっと楽しく、もっと味わうコンサートの魅力をナビゲーター林田直樹が紹介しよう。

文 ● 林田直樹 (音楽ジャーナリスト・評論家)

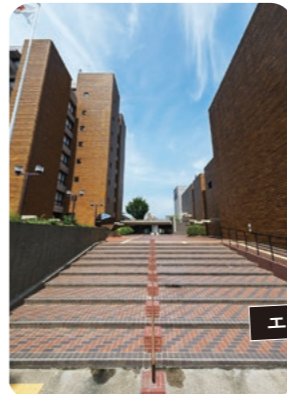
チケット発売日 一般 10.24(土) メンバーズ 10.17(土)

イレブン・クラシックス Vol.2 波多野睦美 & 高橋悠治

2021年 1.13(水) 11:00 (終了予定12:40) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
[出演] 波多野睦美 (メゾソプラノ)、高橋悠治 (ピアノ) / 林田直樹 (ナビゲーター)
[曲目] シューベルト: 歌曲集《冬の旅》より ほか
(音楽がもっと面白くなるトーク・タイムあり)

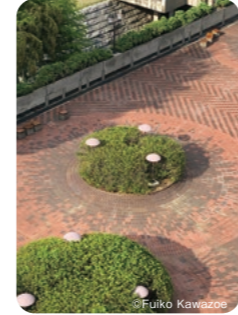
チケット (税込) 全席指定 2,000円

※新型コロナウイルス感染症の影響により発売日を当初の予定より変更いたしました。



エスプラナード

埼玉会館は大・小ホールと3つの展示室、会議室を持つ施設。東側の大ホール、西側の小ホールと会議室棟の間には、タイルを敷き詰めた中庭、エスプラナード（散策路という意味）が。高低差のある土地を生かし、その形状に合わせてつくられた二段のエスプラナードは、建物の60パーセントを地下に潜らせるという大胆な設計によって生み出されました。主要部分を地下に埋めて建物の威圧感をなくし、街をゆく人々をゆったりと受け入れる広場のような空間を生み出しています。2色のタイルが敷き詰められた足元の模様は、ホールのホワイエとも繋がっているとか。



エスプラナードは、丸型の植え込みを中心として波紋が重なり、波紋と波紋の間は、人が歩く流れをイメージして配置された、網代張り模様で表現。生き生きとしたリズム感ある空間となっています。



アート作品を展示することも。「イカルス・伐採樹木 '19」作：田中千鶴子



小ホール



ポコポコとした音響壁の小ホール。扇型に配置された座席の色は深緑で、森の中の岩屋のような落ち着いたデザイン。客席のライトもデザイン性が高く、カッコイイ。

Illustration © Nao Sakamoto



提供 © 前川建築設計事務所 撮影 © 廣田治雄

前川國男 (1905年-1986年)

新潟生まれ、東京帝国大学工学部建築学科に入学。卒業後に単身フランスに渡り、モダニズム建築の礎を築いたル・コルビュジエのアトリエに入所。2年間の留学を終えて帰国し、アントニン・レイモンドが東京に開いた設計事務所に勤め、1935年に自身の事務所を設立。日本の近代建築を代表する建築家として活躍。主な作品に、東京文化会館、東京都美術館、紀伊屋書店新宿本店、神奈川県立図書館、音楽堂、埼玉県立歴史と民俗の博物館、京都公会館、国立国会図書館新館など。

参加者募集

埼玉会館 前川國男建築セミナー第7回 「前川建築と埼玉会館の心地よさ」

埼玉会館の魅力が「彩」を発見するセミナーの第7回はコマース界の第一線で活躍の写真家、長山一樹氏が見たロケ地としての埼玉会館の魅力や、その空間を設計した前川國男の思いを探りながら、前川建築の心地よさの特徴に迫ります。

講師：橋本功（前川建築設計事務所長）、長山一樹（写真家）

日時：11月7日（土）14:00～16:00

会場：埼玉会館 大ホール

申込方法：参加希望人数、代表者氏名、連絡先（電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、メール、FAX、電話、下記QRコードよりお申込みください。 ※入場無料。定員に達した時点で締め切らせていただきます。 ※申込方法等詳細は埼玉会館ホームページをご覧ください。

お問合わせ：埼玉会館 MAIL:info-kaikan@saf.or.jp FAX:048-829-2477 TEL:048-829-2471 (休館日を除く10:00～19:00) ※新型コロナウイルス感染症の影響により当初発表の開催時期を変更いたしました。

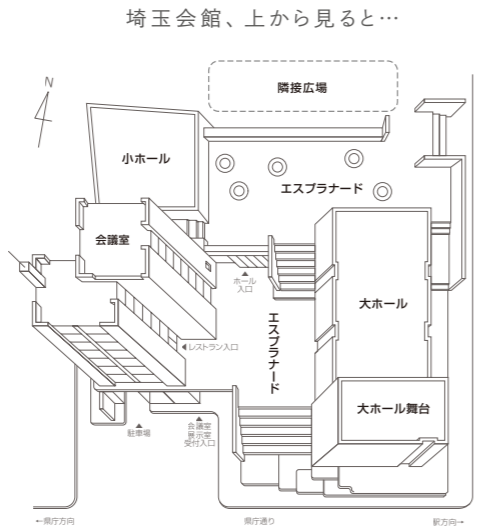


旅するように劇場を巡る、味わう

埼玉会館を歩いてみませんか？

写真作品提供 ● 建築写真家 太田正夫 (STEP-image) 取材・文 ● 川添史子

浦和駅から徒歩10分、埼玉の文化中核拠点として知られる「埼玉会館」。大正15年(1926年)に創設された「御成婚記念埼玉會館」と名付けられたこの会館は、昭和41年(1966年)に建て替えられ、「埼玉会館」として現在に至ります。現在の建物は、モダニズム建築の巨匠ル・コルビュジエの弟子として学び、戦後の日本建築界をリードした前川國男によって設計されたもの。随所に建築家が凝らした工夫を知れば、足を運ぶのがさらに楽しくなるでしょう。そんな会館の魅力をご紹介します。



埼玉会館、上から見ると...



外壁は、自然の焼きムラがある、こっくりとした深い色合いのタイルで覆われています。戦後ル・コルビュジエが使って注目され、日本でも流行した打ち放しコンクリートの対比もシャレてる！ 打ち放しコンクリートは湿度の高い日本では劣化が激しく、当時、それに代わる仕上げとしてコンクリートの上にタイルを貼る方法が普及。しかし時間がたつにつれて剥離し、落下する事件が続していたとか。これに対し前川は、コンクリートを打ち込むことで一体化して剥がれにくい、「打ち込みタイル工法」を考案。全面的に使用されたのは、この埼玉会館が初めてだったそう。コンクリートは建物内外で使用されていて、表面をよく見ると、荒々しい木肌のような表情（外壁や小ホールホワイエ）と、きめ細やかな優しい木目調の表情（会議室ベランダなど）の2種類があり、使用箇所によって使い分けられていることが分かります。



大ホール

木で仕上げられた大ホールは高品質の音の響きが楽しめます。壁と天井面が切れ目なく一体となった構造は珍しく、一見の価値あり。中に入ると、まるで木に抱かれているような温もりある空間です。天井の照明は星空のようにランダムに散りばめられていて、建築家の遊び心を感じさせます。「優良ホール100選」にも選ばれています。



大ホールホワイエ正面の窓側の壁の配色は赤や紫などで、前川カラーと呼ばれる大胆でカラフルな色使いになっています。樹木のように天井に伸びる柱も伸びやか。



劇場の人たちに愛を込めて「たけのこ」と呼ばれる、陰影を生む間接照明。

ここも注目！



小ホール ホワイエ



大ホール ホワイエ

丸い角に丸い手すり。随所に丸みを取り入れられた設計は、おおらかで優しさを感じます。



小ホール 脇通路

家具類も建築空間を構成する重要な要素であると考えた前川氏は、室内外の家具類のデザインも手掛けました。オリジナルデザインはどれもオシャレ！





和太鼓体験会・演奏会

体験会 11月8日(日) 13:00開始
演奏会 11月8日(日) 15:00開演
美園コミュニティセンター 多目的ホール
〒336-0967 さいたま市緑区美園 4-19-1

和太鼓集団「批魅鼓」を迎え、小学生の子どもたちが和太鼓の魅力である「全身を使って打つことの爽快感」に触れる体験会と、「批魅鼓」の演奏会を開催します。

[チケット・お申込み・お問合わせ]
美園コミュニティセンター <http://www.saitama-culture.jp/misono/>
TEL.048-764-8810 (9:00~21:00)
[主催] 公益財団法人さいたま市文化振興事業団

JAPAN LIVE YELL project
**さいたま
アート・フェスタ**



2020.11 - 2021.3

ライブアートで元気を！ライブアートを応援！
新型コロナウイルスの感染拡大により
文化芸術活動は大きな影響を受けました。
表現するよろこび、鑑賞するよろこびを取り戻したい、
そんな願いを込めて、全国27都道府県で
「JAPAN LIVE YELL project」が一斉に実施されます。
埼玉では、彩り豊かなライブアートイベントが大集結した
「さいたまアート・フェスタ」を開催！
子どもから大人まで楽しめるイベント&コンサート
盛りだくさんでお届けします。



埼玉 WABI SABI 大祭典 2020 (オンライン開催)

11月22日(日)
オンライン無料配信
秩父屋台囃子や南田島の足踊りなど、県内各地域の特色ある伝統芸能の魅力、
埼玉 WABI SABI 大祭典 2020 (オンライン開催) でお届けします。
[お問合わせ]
埼玉 WABI SABI 大祭典 運営事務局 <https://saitama-wabi-sabi-2020.jp>
TEL.048-644-5313 (平日9:30~17:30) MAIL.wabi-sabi@jtb.com
[主催] 埼玉県



さいたまアート・フェスタ ファミリー・コンサート
Hello! オーケストラ
石川星太郎(指揮) 岩崎瑞穂(司会) 新日本フィルハーモニー交響楽団

11月23日(月・祝) 13:30開演 / 17:00開演
埼玉会館 大ホール **オンライン配信 ※13:30公演のみ**
[主催] さいたまアート・フェスタ実行委員会
詳細はP.18



スティールパン体験会・コンサート

体験会 11月15日(日) 10:30開始、11月22日(日) 9:30開始、
11月29日(日) 10:30開始、12月6日(日) 10:30開始
コンサート 12月6日(日) 14:00開演
美園コミュニティセンター 多目的ホール
〒336-0967 さいたま市緑区美園 4-19-1

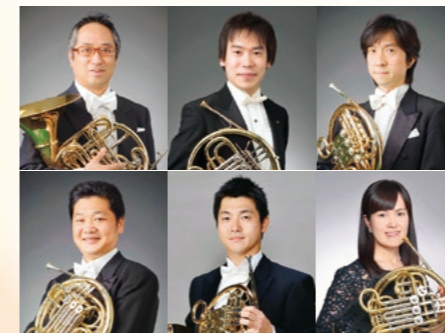
作曲家でスティールパンの第一人者である浦和大学教授の出口雅生によるスティールパンを、
小学生の子どもたちが4回にわたり体験。体験会に参加した子どもたちは、最終日の出口雅生
によるコンサートにも部分的に出演します。

[チケット・お申込み・お問合わせ] 美園コミュニティセンター
<http://www.saitama-culture.jp/misono/> TEL.048-764-8810 (9:00~21:00)
[主催] 公益財団法人さいたま市文化振興事業団

埼玉会館ランチタイム・コンサート第45回
NHK交響楽団 ホルン・アンサンブル

12月7日(月) 12:10開演
埼玉会館 大ホール
お昼どきの50分、気軽に一流の演奏をお楽しみいただける好評のコンサート。
シリーズ第45回には、日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団のホルンパート
のメンバーを迎えます。広い音域、豊かな音色を誇るホルンの魅力をたっぷりとお楽
しみください。

[主催] 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
詳細はP.21



ソニックダンスステージ

2021年1月23日(土) 14:00開演
ソニックシティ 大ホール
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
埼玉県内の高校ダンス部・同好会を対象としたダンスイベント。大ホールの大きなステージを
使い、ゲストダンサーを迎え、高校生たちが生演奏によるダンスパフォーマンスを披露します。
[チケット・お申込み・お問合わせ] ソニックシティホール <https://www.sonic-city.or.jp/>
TEL.048-647-7722 (9:00~17:00 / 日曜・祝日を除く)
[主催] 公益財団法人埼玉県産業文化センター



©Satoshi Otsuka



©Shinichiro Saigo

高橋多佳子とヤングピアニスト

2021年1月23日(土) 15:00開演
プラザイスト ホール
〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1440-8
第12回シヨバン国際ピアノ・コンクール第5位などの実績を
もつ世界的ピアニスト、高橋多佳子を招き、地域の子とも達
とのジョイントコンサートを開催します。
[チケット・お申込み・お問合わせ] プラザイスト
<http://www.saitama-culture.jp/plazaest/>
TEL.048-875-9933 (9:00~21:00 / 休館日を除く)
[主催] 公益財団法人さいたま市文化振興事業団

埼玉会館ランチタイム・コンサート第46回
**野尻小矢佳(マリンバ・打楽器) &
中川賢一(ピアノ)**

2021年2月9日(火) 12:10開演
埼玉会館 大ホール
打楽器の多彩な魅力を引き出し、その楽しさを伝える野尻
小矢佳と、楽器を自由自在に操るピアノの魔術師 中川賢
一が登場！ 親しみやすいメロディーから、アンサンブルに
よる迫力のサウンドもお楽しみいただける「ひと味も、ふた
味も違う！」とびっきりのプログラムをお贈りします。
[主催] 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
詳細はP.22



©Shuhei NEZU

**ユナイテッド・ユーロ・
プラス・クインテット**

2021年3月6日(土) 15:00開演
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
名トランペット奏者 ラインホルト・フリードリッヒの呼
びかけにより集結した、超一流プレイヤー達による
金管五重奏団を迎えます！ 極上のサウンドと超絶
テクニックで、本格的なプラス・アンサンブル作品や
ビートルズ・メドレーなどをお届けします。
[主催] 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
詳細は決定次第発表いたします。



埼玉会館特別公演
NHK交響楽団

尾高忠明(指揮) 小山実稚恵(ピアノ) 村治佳織(ギター)

2021年3月11日(木) 16:00開演
埼玉会館 大ホール
毎年恒例のNHK交響楽団 埼玉会館公演。今年は同団正指揮者で数々の名演を生み出し続け
ている尾高忠明と、ソリストに小山実稚恵、村治佳織の2名を迎え、特別な演奏会をお届けします。
[主催] 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
詳細はP.22



©Martin Richardson ©Hiromichi Uchida ©Ayako Yamamoto



**さいたま子どもスーパーカッショ
ン第9回定期演奏会**

2021年3月21日(日) 14:00開演
プラザイスト ホール
〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1440-8
公募により選ばれた小学生~中学生がプロのレッスンを受け、最終的に
プロのアーティストと共演し、打楽器バンドとして公演を開催します。
[チケット・お申込み・お問合わせ] プラザイスト
<http://www.saitama-culture.jp/plazaest/>
TEL.048-875-9933 (9:00~21:00 / 休館日を除く)
[主催] 公益財団法人さいたま市文化振興事業団



各イベント開催にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防
止・予防対策を実施しています。
また、今後新型コロナウイルス感染症の影響によりプログラ
ムの変更・延期・中止の可能性がございます。
最新情報は各イベント主催者のホームページまたはお問合
せ先にて必ずご確認ください。

さいたまアート・フェスタ公式ホームページ 10月中旬公開! saitama-artfes.jp

Pick UP

家族みんなで、 オーケストラの魅力を知る芸術の秋

JAPAN LIVE YELL project

さいたまアート・フェスタ ファミリー・コンサート

Hello! オーケストラ



石川星太郎 (指揮)
Seitaro Ishikawa

東京藝術大学音楽学部指揮科、ロベルト・シューマン音楽大学デュッセルドルフ指揮科卒業。ドイツで研鑽を積み、2016年第1回フェリクス・メンデルスゾーン国際指揮者コンクール第2位受賞、国内外で新作初演も積極的に行なっている。2018年にはハンプルク州立歌劇場にてペーター・ルジツカのアペラ「ベンヤミン」の副指揮を務め、世界初演の成功に貢献するなど内外幅広く活躍している。



岩崎瑞穂 (司会)
Mizuho Iwasaki

コンサートやイベント等でMCや歌のお姉さんとして活躍。「しまじろうコンサート」では歌のお姉さんとして、4年間全国を巡り人気者に。また、現在も「ズーラシアンプラス/音楽の絵本」コンサートのメイン司会として全国に笑顔を届けており、大規模な祭典の総合司会も務める。振り付けやダンス講師としても活躍しており、歌に踊りに司会に……と、マルチな活躍を続けている。

2020年秋、埼玉会館にオーケストラがやってきます。4歳から入場できる、60分間のショート・プログラムはご家族での来場にぴったり。体と心に響く、大迫力の生演奏をみんなで楽しんでみませんか？ 気鋭の若手指揮者・石川星太郎、コンサートやイベントでMCや歌のお姉さんとして親しまれている岩崎瑞穂、そして新日本フィルハーモニー交響楽団を迎えて、クラシックの名曲や映画『となりのトトロ』でおなじみの曲など、わくわく楽しいプログラムをお届けします。

おうちでも楽しめる！ オンライン配信も

おうちでも楽しめるよう、オンラインでもコンサートをライブ配信いたします。日本中どこからでも、4歳未満のお子様と一緒にコンサートが楽しめるこの機会をどうぞお見逃しなく。

チケット発売日 10.3(土)

JAPAN LIVE YELL project
さいたまアート・フェスタ ファミリー・コンサート
Hello! オーケストラ

11.23(月・祝) 13:30 / 17:00 (全2回)

(上演時間: 約60分間 [休憩なし])

埼玉会館 大ホール

[出演] 石川星太郎 (指揮)、岩崎瑞穂 (司会)、
新日本フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)

[曲目]

ロシーニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より

久石譲: オーケストラ・ストーリーズ『となりのトトロ』より〈さんぽ〉

ドヴォルザーク: スラヴ舞曲 作品46-1

マスネ: タイスの瞑想曲

ベートーヴェン: 交響曲第5番『運命』より第1楽章

J. ヴィリアムズ: 映画『スター・ウォーズ』より〈メイン・タイトル〉

J. ヴィリアムズ: 映画『ハリ・ポッターと賢者の石』より〈ヘドウィグのテーマ〉

久石譲: 映画『となりのトトロ』より〈風の通り道〉〈エンディング〉

チケット(税込) 全席指定 大人2,000円 子ども(4歳~12歳)500円

※4歳からご入場いただけます

オンライン鑑賞チケット1,000円

電子チケットサイトTIGETにて会員登録をしてお購入ください。

<https://tiget.net/>

公演と同時に配信を行う「ライブ配信」と、何度でも視聴可能な「アーカイブ配信」が楽しめます(期間限定)。※「ライブ配信」は13:30公演のみ

[主催] さいたまアート・フェスタ実行委員会



新日本フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)
New Japan Philharmonic

1972年、指揮者 小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。1997年、墨田区に移転。すみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。音楽監督・上岡敏之のもと、定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動を行なっている。

MUSIC

大塚直哉レクチャー・コンサート

オルガンとチェンバロで聴き比べるバッハの“平均律” Vol.4 バッハの生きた時代と“平均律”

7.5(日) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



Photo © 横田敦史

新型コロナウイルス感染拡大防止のための主催公演中止・延期を経て4か月ぶりの劇場再開となった本公演。客席は久しぶりに生音を聴く喜びに包まれた。J. S. バッハ《平均律クラヴィア曲集》をポジティブ・オルガンとチェンバロで聴き比べるレクチャー・コンサートは今年度から第2巻へ。《平均律》第1巻も謎が多かったが、さらに第2巻はバッハが“第2巻”と考えていたか分からない作品で、各曲にはさまざまな仕掛けがあるという大塚直哉の解説に好奇心を刺激され、第1番から第6番までを味わった。ゲストは音楽評論家の加藤浩子。バッハゆかりの地を巡るツアーを長年行い、等身大のバッハを探求する彼女が現地で撮影したバッハの住居等をスライドで紹介。彼女の語るバッハの素顔も興味深く、バッハをより身近に感じる回になった。

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート第44回

上野耕平 (サクソフォン)

8.27(木) 埼玉会館 大ホール



Photo © 加藤典弘

人気・実力共に今ナンバー1の若手サクソフォン奏者上野耕平によるランチタイム・コンサートは、最初2曲をソプラノ・サクソフォンで演奏。ベダール《ファンタジー》で躍動感あふれるパッセージと哀愁漂う歌を奏でたあと、《G線上のアリア》はまるでイングリッシュホルンのような音色でバッハの崇高な音世界を描き出す。アルト・サクソフォンに持ち替えたミヨー《スカラムーシュ》は軽妙な音楽を自在に演奏。この日のピアニスト高橋優介が作曲した《ロマンスとロンド》では高橋が鍵盤ハーモニカも演奏し、バンドネオンが加わったかのようなジャズ風「3重奏」で魅了した。《カプースチンカクテル》は高橋お気に入りのカプースチンの曲を彼が組み合わせ編曲した音楽の「カクテル」。超絶技巧を鮮やかに奏でる上野と高橋の圧巻のデュオだった。

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場 埼玉会館 = 埼玉会館

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催日・発売日に変更がございます。また、今後も変更の可能性がございます。ご来場の際は必ず財団ホームページまたはお電話等で開催状況をご確認の上、お越しください。

10月	PLAY	DANCE	MUSIC	CINEMA/EVENT
1 木				1 木
2 金				2 金
3 土				3 土
4 日				4 日
5 月				5 月
6 火				6 火
7 水				7 水
8 木				8 木
9 金				9 金
10 土				10 土
11 日				11 日
12 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			12 月
13 火				13 火
14 水	休館日(埼玉会館)			14 水
15 木				15 木
16 金				16 金
17 土				17 土
18 日				18 日
19 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			19 月
20 火				20 火
21 水				21 水
22 木				22 木
23 金				23 金
24 土				24 土
25 日				25 日
26 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			26 月
27 火				27 火
28 水				28 水
29 木				29 木
30 金				30 金
31 土				31 土
11月				1 日
1 日				2 月
2 月				3 火・祝
3 火・祝				4 水
4 水				5 木
5 木				6 金
6 金				7 土
7 土				8 日
8 日				9 月
9 月				10 火
10 火				11 水
11 水				12 木
12 木				13 金
13 金				14 土
14 土				15 日
15 日				16 月
16 月				17 火
17 火				18 水
18 水				19 木
19 木				20 金
20 金				21 土
21 土				22 日
22 日				23 月・祝
23 月・祝				24 火
24 火				25 水
25 水				26 木
26 木				27 金
27 金				28 土
28 土				29 日
29 日				30 月
12月				1 火
1 火				2 水
2 水				3 木
3 木				4 金
4 金				5 土
5 土				6 日
6 日				7 月
7 月				8 火
8 火				9 水
9 水				10 木
10 木				11 金
11 金				12 土
12 土				13 日
13 日				14 月
14 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			15 火
15 火	休館日(埼玉会館)			

2 クロノス・カルテット 公演中止
ライヴドキュメンタリー&パフォーマンス
「A THOUSAND THOUGHTS」

17 光の庭プロムナード・コンサート
第118回 イタリアとフランスの息吹
音楽ホール 14:00
【出演】原田真祐(オルガン)、前澤歌穂(メゾピアノ)
【曲目】
D. スカルラッティ:オルガン・ソナタ 二長調
A. スカルラッティ:歌劇《愛はまこと》より
「隔はすでにガンジス川から」
モーツァルト:歌劇《フィガロの結婚》より
「恋とはどんなものかしら」
J. S. バッハ:《イタリア協奏曲》第1楽章 BWV 971/1 ほか
※入場無料
※今回に限り会場を変更して開催いたします。

【要事前申込み】受付中
財団ホームページより、事前申込みをお願いいたします(先着150名様)。また、ご来場の際は、必ずお電話または財団ホームページ等で開催状況をご確認の上、お越しください

3 ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40
川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル
音楽ホール 15:00
詳細はP.21

23 JAPAN LIVE YELL project
さいたまアート・フェスタ
ファミリー・コンサート
Hello! オーケストラ
埼玉会館 大ホール 13:30 / 17:00
詳細はP.18

29 バッハ・コレギウム・ジャパン
ベートーヴェン「運命」とハ長調ミサ曲
音楽ホール 15:00
※11/21(土) 関連レクチャーあり。
詳細はP.21

7 埼玉会館ランチタイム・コンサート第45回
NHK交響楽団
ホルン・アンサンブル
埼玉会館 大ホール
12:10(終了予定13:00)
詳細はP.17, 21

12 フランソワ・シェニエール&ニノ・レネ
「不確かなロマンス
—もう一人のオーランドー」
大ホール
12日(土) 15:00 / 13日(日) 15:00
詳細はP.8-9

5 「ガンジー島の
読書会の秘密」
埼玉会館 小ホール
10:30 / 14:30 / 18:30
詳細はP.21

22 「ラスト・ディール
美術商と名前を失くした肖像」
映像ホール
10:30 / 14:30

24 10:30 / 14:30
詳細はP.21

7 埼玉会館
前川国男建築セミナー第7回
「前川建築と
埼玉会館の心地よさ」
埼玉会館 大ホール
14:00-16:00
詳細はP.14-15

19 「世界でいちばん
貧しい大統領
～愛と闘争の男、ホセ・ムヒカ～」
映像ホール
10:30 / 14:30

21 10:30 / 14:30
詳細はP.21

28 【振替公演】
光の庭プロムナード・コンサート
第115回 秋の薔薇に寄せて
情報プラザ 14:00
【出演】廣江理枝(オルガン)、松原勝也(ヴァイオリン)
【曲目】シューベルトの《野ばら》による即興
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第5番
作品24 「春」より第1楽章 ほか
※入場無料

【要事前申込み】10/20(火)10:00受付開始
財団ホームページより、事前申込みをお願いいたします(先着80名様)。また、ご来場の際は、必ずお電話または財団ホームページ等で開催状況をご確認の上、お越しください

1 火
2 水
3 木
4 金
5 土
6 日
7 月
8 火
9 水
10 木
11 金
12 土
13 日
14 月
15 火

1 木
2 金
3 土
4 日
5 月
6 火
7 水
8 木
9 金
10 土
11 日
12 月
13 火
14 水
15 木
16 金
17 土
18 日
19 月
20 火
21 水
22 木
23 金
24 土
25 日
26 月
27 火
28 水
29 木
30 金
31 土

CINEMA
彩の国シネマスタジオ
【全席自由・各回入替制・整理券制】
大人1,100円 学生550円 [入場時に学生証をご提示ください]
※料金は当日現金支払いのみ

10.5(月) 埼玉会館 小ホール
『ガンジー島の読書会の秘密』
(2018年/フランス・イギリス/124分)
【監督】マイク・ニューウェル
【出演】リリー・ジェームズ、ミキエル・ハースマン、
グレン・パウエル、ジェシカ・ブラウン・フィンドレイ、
キャサリン・パーキンソン、マシュー・グード、
トム・コートネイ、ベネローバ・ウィルトン ほか

10.22(木)～24(土) 映像ホール
『ラスト・ディール
美術商と名前を失くした肖像』
(2018年/フィンランド/95分)
【監督】クラウス・ハロ
【脚本】アナ・ヘイナマー
【出演】ヘイッキ・ノウシアイネン、ビルヨ・ロンカ、
アモス・プロテレス ほか

11.19(木)～21(土) 映像ホール
『世界でいちばん貧しい大統領
～愛と闘争の男、ホセ・ムヒカ～』
(2018年/アルゼンチン・ウルグアイ・セルビア/74分)
【監督】エミール・クストリツァ
【出演】ホセ・ムヒカ、ルシア・トランスキー ほか

TICKETS チケット

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール = 彩の国さいたま芸術劇場 埼玉会館 = 埼玉会館
*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。 お子様から楽しんでいただける公演です。

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催日・発売日に変更がございます。また、今後も変更の可能性がございます。ご来場の際は必ず財団ホームページまたはお電話等で開催状況をご確認の上、お越しください。

PLAY

販売中
彩の国さいたま寄席 四季彩亭
令和元年度 彩の国落語大賞受賞者の会
三遊亭鬼丸
10.31(土) 14:00 小ホール
【出演】三遊亭鬼丸(彩の国落語大賞・2席)、
三増紋之助(ゲスト・曲独奏)、林家けい木 ほか
※当初発表より出演者が一部変更となりました。
チケット(税込) 全席指定 一般 3,200円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,100円
メンバーズ 2,700円
※開場は開演の1時間前
※当初発表の開催時期を変更いたしました。

販売中
『かがみ まどとびら』 推奨年齢4歳以上
詳細はP.4-5

発売日 一般 11.21(土) メンバーズ 11.14(土)
ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40
川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル
11.3(火・祝)15:00 音楽ホール
【曲目】
アルカン: 波打ち際の狂女の歌 作品31-8
幻影 作品63-1
ないしょ話 作品63-9
初めてのラブレター 作品63-46
夢の中で 作品63-48
荒れ模様 作品74-10 ほか
ショパン: 24の前奏曲 作品28
【使用楽器】ブレイエル(1843年 タカクラヴィア所蔵)
チケット(税込) 一般 正面席 3,600円
メンバーズ 正面席 3,300円 バルコニー席 2,600円
U-25* (バルコニー席対象) 1,000円
※開場は開演の1時間前
※発売日を当初の予定より変更いたしました。

DANCE

発売日 一般 10.25(日) メンバーズ 10.24(土)
フランソワ・シェニエール&ニノ・レネ
「不確かなロマンス—もう一人のオーランドー」
詳細はP.8-9

MUSIC

発売日 一般 10.3(土)
JAPAN LIVE YELL project
さいたまアート・フェスタ
ファミリー・コンサート
Hello! オーケストラ 推奨年齢4歳以上
詳細はP.18

発売日 一般 10.4(日) メンバーズ 10.3(土)
埼玉会館ランチタイム・コンサート第45回
NHK交響楽団ホルン・アンサンブル
12.7(月)12:10(終了予定13:00)
埼玉会館 大ホール
【出演】今井仁志、福川伸陽、勝俣 泰、石山直城、
木川博史、野見山和子(ホルン)
【曲目】J. S. バッハ: トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565
ヘンデル: 《水上の音楽》より ほか
チケット(税込) 全席指定 1,000円
※開場は開演の1時間前

発売日 一般 10.11(日) メンバーズ 10.10(土)
ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.40
川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル
11.3(火・祝)15:00 音楽ホール
【曲目】
アルカン: 波打ち際の狂女の歌 作品31-8
幻影 作品63-1
ないしょ話 作品63-9
初めてのラブレター 作品63-46
夢の中で 作品63-48
荒れ模様 作品74-10 ほか
ショパン: 24の前奏曲 作品28
【使用楽器】ブレイエル(1843年 タカクラヴィア所蔵)
チケット(税込) 一般 正面席 3,600円
メンバーズ 正面席 3,300円 バルコニー席 2,600円
U-25* (バルコニー席対象) 1,000円
※開場は開演の1時間前
※発売日を当初の予定より変更いたしました。

発売日 一般 10.18(日) メンバーズ 10.17(土)
バッハ・コレギウム・ジャパン
ベートーヴェン「運命」とハ長調ミサ曲
11.29(日)15:00 音楽ホール
【出演】鈴木雅明(指揮)、中江早希(ソプラノ)、
布施奈緒子(アルト)、櫻田 亮(テノール)、加来 徹(バス)
※当初発表より出演者が一部変更となりました。
【曲目】
ベートーヴェン生誕250周年記念
交響曲第5番 ハ短調 作品67 「運命」
ミサ曲 ハ長調 作品86
チケット(税込)
一般 正面席 9,000円 バルコニー席 8,000円
U-25* (バルコニー席対象) 3,000円
メンバーズ 正面席 8,500円
※開場は開演の1時間前
※発売日を当初の予定より変更いたしました。
【関連レクチャー】
11月21日(土) 15:00 BCJ音楽監督 鈴木雅明による
作品解説レクチャー開催 詳細はP.23

次頁へ続く

MUSIC

発売日 一般 10.24(土) メンバース 10.17(土)

イレブン・クラシックス Vol.2
波多野睦美&高橋悠治
詳細はP12-13

発売日 一般 10.24(土) メンバース 10.17(土)

大塚直哉レクチャー・コンサート
オルガンとチェンバロで聴き比べる
バッハの“平均律” Vol.5 フーガの身体性
2021年 2.14(日)14:00 音楽ホール
[出演] 大塚直哉 (ポジティブ・オルガン、チェンバロ、お話)
ゲスト：小尻健太 (ダンサー、振付家)
[曲目] J. S. バッハ：
《平均律クラヴィア曲集第2巻》より 第7番～第12番
チケット (税込) 全席指定 2,200円
※発売日を当初の予定より変更いたしました。

発売日 一般 12.13(日) メンバース 12.12(土)

埼玉会館ランチタイム・コンサート第46回
野尻小矢佳(マリンバ・打楽器) & 中川賢一(ピアノ)
2021年 2.9(火)12:10(終了予定13:00)
埼玉会館 大ホール
[出演] 野尻小矢佳 (マリンバ・打楽器)、中川賢一 (ピアノ)
[曲目] パッヘルベル：カノン
J. ササズ：マトルズ・ダンス ほか
チケット (税込) 全席指定 1,000円

発売日 一般 12.19(土) メンバース 12.12(土)

埼玉会館特別公演
NHK交響楽団
尾高忠明(指揮)
小山実稚恵(ピアノ) 村住佳織(ギター)
2021年 3.11(木)16:00 埼玉会館 大ホール
[曲目] エルガー：《エニグマ変奏曲》より (ニムロッド)
ロドリゴ：アランフェス協奏曲
ラフマニノフ：バガニョニの主題による狂詩曲
ストラヴィンスキー：バレエ組曲《火の鳥》(1919年版)
※詳細は次号に掲載します。

発売日調整中 ※決まり次第お知らせします

ジャン・チャクムル ピアノ・リサイタル
2021年 1.30(土)15:00 音楽ホール
[曲目] 調整中
チケット (税込)
一般 正面席 3,600円 メンバース 正面席 3,300円
バルコニー席 2,600円
U-25* (バルコニー席対象) 1,000円

チケット購入方法

インターネット

SAF オンラインチケット
埼玉芸術文化振興財団
オンラインチケット
で、発売初日10:00から
公演前日23:59まで
受付いたします。

【PC・携帯共通】
https://www.ticket.ne.jp/saf/

登録のご住所へ無料配送
【クレジットカード決済】
【コンビニ発券】
または【コンビニ支払い】

※チケット代に加え、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。

電話予約

チケットセンター 0570-064-939

10:00～19:00 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)
※一部の携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

登録のご住所へ無料配送
【コンビニ支払い】 ▶ コンビニ発券

※チケット代に加え、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。
※コンビニ支払い後にチケット配送も承りますが、チケット代はかに配送料
(配送1件につき400円)が必要です。

窓口販売

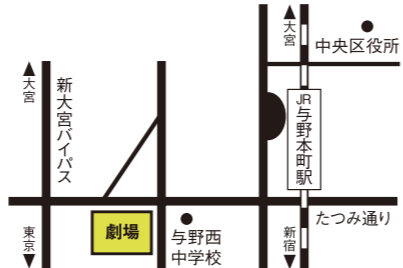
彩の国さいたま芸術劇場・埼玉会館窓口 (10:00～19:00)
で直接購入いただけます。電話予約したチケットの
引取もできます (メンバーは登録のご住所への配送となります)。
※休館日をお確かめの上、ご来場ください。

【口座引落】
【現金】または
【クレジットカード決済】
その場で
チケットを
お渡しします。
※手数料は
かかりません。

チケット不正転売防止について

- ◎当財団主催公演チケットは、財団の同意なく有償で譲渡することを禁止いたします。
- ◎当財団が直接販売する主催公演のチケットは、購入者の氏名及び連絡先を確認した上で販売いたしております。

彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515
●電車でのアクセス
JR埼京線与野本町駅(西口)下車 徒歩7分
●バスでのアクセス
JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き
「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4
電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477
●電車でのアクセス
JR宇都宮線・高崎線・京浜東北線・湘南新宿ライン
浦和駅(西口)下車 徒歩6分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

第7世代実験室による配信企画
「#playthemoment」の第2弾が進行中!

さいたまネクスト・シアター有志メンバーが自ら企画・運営を行うユニット“第7世代実験室”。配信企画「#playthemoment」の第2弾では、藤原季節、銀粉蝶をゲストに迎え、新型コロナウイルス感染症拡大という前代未聞の状況下において、いま俳優たちが何を想い演じるのか—葛藤と模索の日々の先に完成した作品をストリーミング配信(有料)でお届けします。また、制作の裏側を追ったドキュメンタリー企画「#playthemoment いま、演劇が立ち上がるさまを追う。」も公式YouTubeチャンネル「ダイナナチャンネル」で無料配信中です。是非ご覧ください。

[演出] 内田健司
[参加メンバー] 藤原季節、銀粉蝶、内田健司、周本絵梨香、佐藤蛍、高橋英希 ほか
本番作品名・チケット情報ほか詳細は特設サイトにて随時解禁!
[特設サイト]
https://dai7sedaizikken.wixsite.com/playthemoment
[ドキュメンタリー配信]
YouTube「ダイナナチャンネル」で8月31日～毎週月曜更新中
[本番配信日程(予定)]
10月24日(土) / 11月1日(日)〈全2回〉
[主催] 第7世代実験室



バッハ・コレギウム・ジャパン
ベートーヴェン「運命」とハ長調ミサ曲
【公演関連企画】
鈴木雅明による作品解説レクチャー

11月29日(日)開催の本公演に先立ちまして、バッハ・コレギウム・ジャパン音楽監督の鈴木雅明による作品解説レクチャーを開催いたします。

[日時] 11月21日(土) 15:00開講
[会場] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
[参加費] 1,000円 ※11/29公演のチケットをお持ちの方は無料
[申込み受付] 10月18日(日) 10:00より受付開始いたします。
財団ホームページまたはQRコードより、申込みフォームにお進みください。
※複数名でご来場される場合は、人数分のお申込みが必要です。
※定員(130名)に達した場合には、お申込み受付を締め切ります。
[お問合わせ] 彩の国さいたま芸術劇場
TEL.0570-064-939 (休館日を除く10:00-19:00)
公演詳細はP21



※新型コロナウイルス感染症の影響により
変更の可能性があります。最新の情報は財団ホームページをご確認ください。



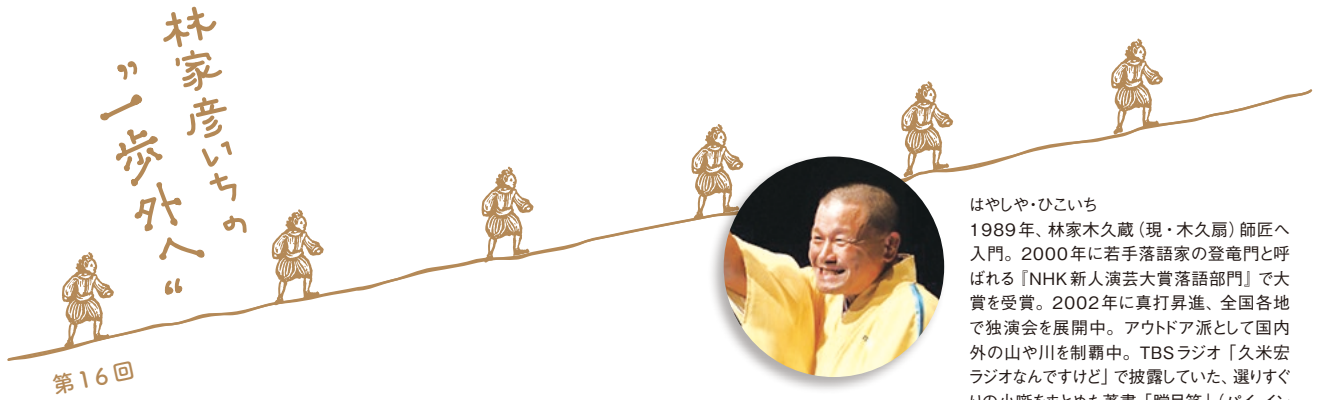
www.saf.or.jp

サポーター会員

(公財)埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのがサポーター会員の皆様方です。(2020.9.15現在 / 一部未掲載)

- (株)与野フードセンター / (株)亀屋 / (株)松本商会 / (有)香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / 埼玉りそな銀行 / (株)パシフィックアートセンター / (株)アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / (株)タムロン / (株)十万石ふくさや / 森平舞台機構(株) / 東芝ライテック(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / 武蔵野銀行 / ロイヤルビーンズホテル浦和 / アルピーノ村 / 国際照明(株) / 埼玉スバル / (株)佐伯紙工所 / (株)太陽商工 / (株)しまむら / 不動開発(株) / ビストロ やま / 埼玉県信用金庫 / (株)栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有)ブラネッツ / (株)デサン / セントラル自動車技研(株) / 丸美屋食品工業(株) / ポラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株)埼玉交通 / サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株)エヌテックサービス / (株)クリーン工房 / (株)つばめタクシー / (株)サンワックス / (株)総合舞台 / (一財)さいたま住宅検査センター / (株)国大グループホールディングス / TAプラットフォーム(株) / イープラス / (医)榎会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / (医)山粋会 山崎整形外科 / サンケイリビング新聞社 / (株)三和広告社 / (株)松尾楽器商会 / 日本大学芸術学部 / (株)ホンダカーズ埼玉 / (有)杉田電機丸茂電機(株) / 太平ビルサービス(株)さいたま支店 / (株)片岡食品 / (株)協栄 / (株)ヨコハマタイヤジャパン / NTT東日本 埼玉事業部 / (株)平和自動車光陽オリエントジャパン(株) / さくら Music Office / クワバラ・パンぷキン / 東和アークス(株) / テレビ埼玉 / 日本ピストンリング(株) / 金井大道具(株) / 国立大学法人 埼玉大学 / (株)七越製菓 / ビーンズ与野本町 / (株)コマーム / (株)原一探偵事務所 / 川口信用金庫 / 青木信用金庫 / (株)和幸楽器 / 大栄不動産(株) / 相川宗一 / (株)ハイデイ日高 / 浦和大学 / 三井隆司 / 大和証券(株) / AGS(株) / ウォータースタンド(株) / (株)ワイイーソリューションズ / 白神久吉 / むさし証券(株) / 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) / ボートピア岡部・栗橋 / 中央税務会計事務所 / トヨタカローラ埼玉(株) / 放送大学埼玉学習センター / GARO DAYHAPPY / (株)有村紙工 / (医)たかだクリニック / SMBC日興証券(株) / (株)アステック / (株)ジェイコム埼玉・東日本 / (株)ヤナセトヨタカローラ新埼玉(株) / 浦和興産(株) / (株)村松フルート製作所 / 東武商事(株) / 東和銀行 / (株)喜多山製菓 / 埼玉ダイハツ販売(株) / (医)大宮シテッククリニック / 埼玉田中電気(株) / (有)細井技研 / (株)エリーサK

お問合わせ (公財)埼玉県芸術文化振興財団 サポーター会員担当 TEL.048-858-5507



はやしや・ひこいち

1989年、林家木久蔵(現・木久扇) 師匠へ入門。2000年に若手落語家の登竜門と呼ばれる『NHK新人演芸大賞落語部門』で大賞を受賞。2002年に真打昇進、全国各地で独演会を展開中。アウトドア派として国内外の山や川を制覇中。TBSラジオ「久米宏ラジオなんですけど」で披露していた、選りすぐりの小噺をまとめた著書「瞠目笑」(パイインターナショナル)が発売中。彩の国さいたま寄席 四季彩亭に1月出演決定!

変幻自在の落語 無限大の可能性

文と写真●林家彦いち

「か」と打ち込むと「禍」となる日々。そんな中、夏休み企画で「こども落語」が開催された。相手は子どもたち。落語を知ってみよう、触れてみよう! という企画で、毎年、夏休みになると全国で多く企画されるが、今年は軒並み中止になっていた。

この日の出演者は、普段は忙しいであろう古今亭菊之丞師、桃月庵白酒師と一緒に。通常だと真打ち一人か、もしくは真打ちが解説して前座さんが仕草を披露するので、この3人で落語解説する機会もなかなか。「コロナキャンセルの功名」かもしれない。口元につけるタイプのプラスチックの飛沫防止ガードをそれぞれ装着して、いざ解説。

直前にざっと流れを決定。白酒師が真ん中の高座に座り、それを僕と菊之丞師で囲む。上下(かみしも)の解説で、僕がはっつあんになり菊之丞師が隠居さんという設定。「ごめんください」「どうぞおあがり」という会話を二人でやってみると、それを白酒師が即興で落語の形で再現。これがあたしと菊之丞のものまねでやるので、見ている親子も可笑しいし、やってるこっちも楽しくなる。面白いので、宇宙人で訪ねてみたりもしたが、また白酒師がそれを演じる。宇宙人が「ゴメンクダサイ」、隠居さんが「誰かと思ったら宇宙人じゃないか。まあまあお上がり」もお何がなにやら可笑しい。

そして極めつけは、食べる仕草。定番のお蕎麦をずるずると。お客さんから拍手。それを横から見ていて違和感が。プラスチックのガード越しに蕎麦がすいすい吸い込まれてゆく。そして美味しそうにもぐもぐしているではないか。違和感と落語感!?がいたりきたり。面白いのでどんどん食べてもらう。つ



あまりの違和感に本番中にも関わらず一枚! カンヤツ。
解説・彦いち目線の一枚

いいでに急遽カルボナーラもリクエストしたら「はいはい」と顔色ひとつ変えずに扇子でクリームソースを絡め! (たような感じで) 食べ始めた。おー! 子どもたちからも拍手。ここで冷静な菊之丞師が「左手のそれはなに?」。うっかり白酒師はそばちょこを持った(仕草)のままだったのだ。「おっ」と思ったのだが顔色変えずに「これは……残像で」。落語は変幻自在なのだ。

この蕎麦がガード越しに吸い込まれた違和感を楽屋で喋っていたら、柳家のある師匠が「そんなことしたら本当に蕎麦食べてないのがバレちゃったんじゃないか?」「えっ!? もうばれていると思うのですが……」。

口にガードを付けるだけで面白くなっちゃう落語の可能性は無限大だ。

YouTube
公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 公式チャンネル
<https://www.youtube.com/SAFtheaterchannel>

Facebook
彩の国さいたま芸術劇場 @saitamaartstheater
埼玉会館 @saitamakaikan

Twitter
演劇担当 @Play_SAF
舞踊担当 @Dance_SAF
音楽担当 @Music_SAF
埼玉会館 @saitamakaikan

Instagram
埼玉会館 @saitamakaikan



www.saf.or.jp

埼玉アーツシアター通信 第89号(2020年10月-11月)
2020年10月1日発行(隔月1日発行)
発行人: 加藤容一
発行: 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1
TEL.048-858-5500